

# インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：1月レポート

稲田義久 (APIR 研究統括兼数量経済分析センター長)  
松林洋一 (APIR 上席研究員)  
野村亮輔 (研究推進部)  
古山健大 (調査役)  
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail: nomura-r@api.or.jp

## ポイント

### ● 2月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表2)、**1月の訪日外客総数(推計値)は17,800人**となった。前月(12,100人)から幾分増加したが、外国人の新規入国停止の影響が続いており、水準は低位で推移している。なお、2019年同月比では-99.3%となった。

▶ 訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると、インドが2,100人で最も多かった。次いで米国が1,800人、中国が1,500人、韓国が1,300人、フィリピンが1,000人であった。

▶ **目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、11月は20,682人**となった(19年同月比-99.2%)(図2及び表3)。うち、観光客は1,709人(同-99.9%)、商用客は1,992人(同-98.8%)、その他客は16,981人(同-86.3%)であった。いずれのカテゴリーも大幅減少だが、その他客は11月6日から水際対策が緩和された影響もあり、マイナス幅は前月(同-89.0%)から幾分縮小した。

▶ 日本が厳格な水際対策続けている一方、**世界各国では入国緩和の動きに加速がみられる**。タイでは2月1日からワクチン接種を完了した外国人旅行者に対して、隔離期間を設けずに入国する緩和策を行った。また、これまで厳しい水際対策を行っていたオーストラリアでは21日からワクチン2回接種完了を条件に2年ぶりに入国制限を全面解除した。入国緩和を行った背景には感染状況が落ち着いたことに加え、**ワクチンのブースター接種の進捗**が挙げられる。これまでに入国緩和を行った主要な国・地域の接種率をみると、英国が55.8%、フランスが52.2%、オーストラリアが42.4%、タイが27.6%と接種が進んでいる(図3)。なお、日本の場合は、これまで接種が遅れていたものの、集団接種や職域接種の開始もあり、足下14.4%まで上昇している。

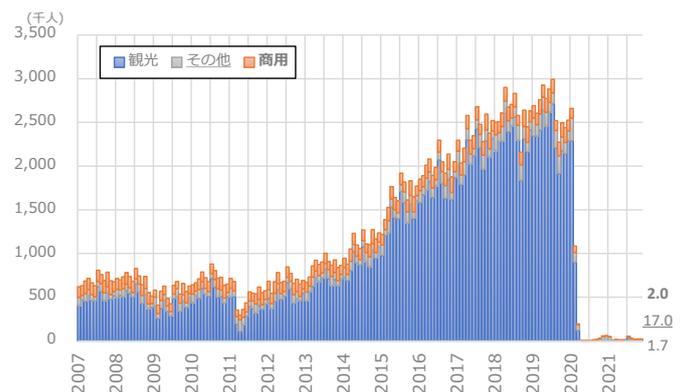
▶ これまで**厳格な水際対策続けてきた日本も入国制限を緩和すると発表した**。政府はオミクロン株の市中感染が拡大し、これまで行ってきた水際対策の効果が薄まったことから緩和の方針を打ち出した。3月1日以降、**入国後の自宅などでの待機を一定条の下で7日間から3日間に短縮**。また**1日当たり入国者数の上限を3,500人から5,000人へ引き上げる**などの緩和策を観光以外の目的に限定して行う予定。これまで留学生や技能実習生などの新規入国が滞っていたこともあり、今回の緩和策により訪日外客は商用客他やその他客を中心に増加が見込まれよう。しかしながら、観光目的の入国者については依然制限されていることから、訪日外客の大幅な回復は見込みづらい。

図1 訪日外客数推移



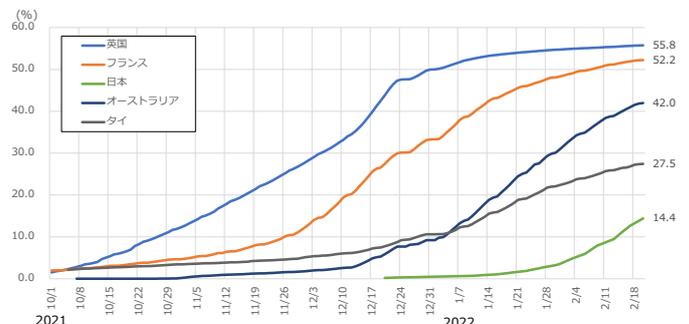
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成  
注) 2020年まで確定値、21年1-11月は暫定値、  
21年12月、22年1月は推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成  
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図3 ワクチンの追加接種状況



出所:Our World In Data より作成(2月20日時点)

\*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意ください。

## トピックス 1

### ● 1月関西の財貨・サービス貿易及び12月のサービス産業動向

▶ 関西1月の輸出は前年同月比+9.7%と11カ月連続で増加した(前月:同+18.5%)(図4)。アジア向けの輸出が好調なこともあり、半導体等電子部品は1月単月として過去最高更新。一方、輸入は原材料や燃料価格の高騰などもあり同+35.9%と12カ月連続で増加(前月:同+32.4%)。また、人用ワクチンを含む医薬品が月別過去最高となった。結果、関西の貿易収支は-1,607億円と24カ月ぶりの赤字に転じた。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西1月の対中輸出は前年同月比+2.0%と20カ月連続の増加だが、前月(同+14.9%)から減速。うち輸出増に寄与したのは半導体等電子部品や映像機器であった。一方、対中輸入は春節の前倒しの影響もあり同+31.0%と8カ月連続で増加し前月(同+23.5%)から加速した。うち、輸入増に寄与したのは衣類及び同附属品や有機化合物等であった。

▶ 1月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は3,496人と前月(2,737人)から増加した(2019年同月比-99.5%)(図6)。外国人の新規入国が停止している影響もあり低水準が続く。同月の日本人出国者数は6,656人で前月(4,247人)から増加した。依然アウトバウンドも低調だが、2019年同月比で-97.7%と、前月(同-98.8%)からマイナス幅は幾分縮小した。

▶ 12月のサービス業はオミクロン株による感染が懸念されていたものの、対面型サービス業を中心に指数は持ち直しが続く。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、12月は98.9で前月比+0.4%上昇し、4カ月連続のプラスとなった(前月:同+0.7%)。対面型サービス業指数\*は89.1で同+2.1%上昇し、4カ月連続のプラス(前月:同+3.9%)。うち、宿泊業は同+15.3%と3カ月連続の上昇でかつ2桁の伸びとなった(前月:同+18.0%)。結果、10-12月期の第3次産業は前期比+2.5%、対面型サービス業は同+12.0%といずれも4四半期ぶりに上昇した(7-9月期:第3次産業:同-0.8%、対面型サービス:同-1.3%)。

▶ 観光関連指数\*\*(2015年平均=100)は、81.2と前月比+1.9%上昇し、4カ月連続のプラス(図7)。各都道府県が行った独自の需要喚起策による旅行需要の回復もあり、旅行業が同+35.6%と4カ月連続で大きく改善した。10-12月期の観光関連指数は前期比+18.5%大幅上昇し、3四半期連続のプラスとなった(7-9月期:同+0.5%)。

\*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

\*\*観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

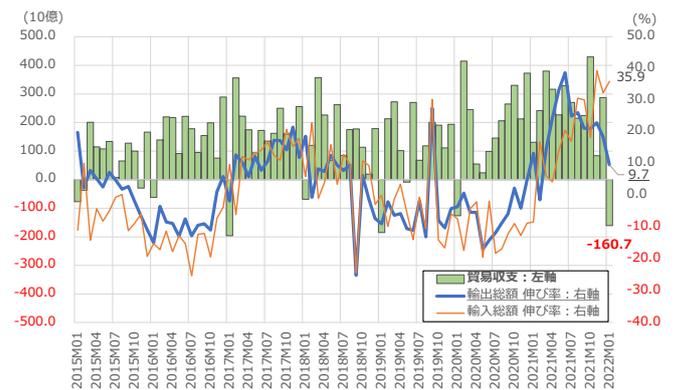
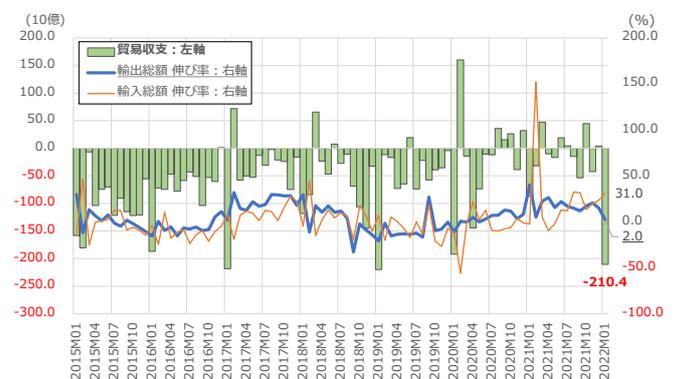


図5 関西 対中貿易の推移



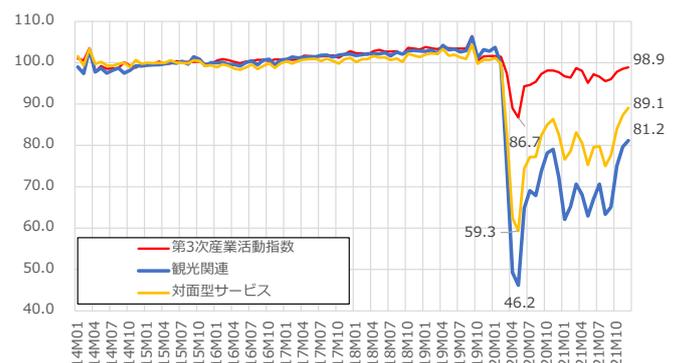
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2022年1月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

## トピックス 2

### ● 11月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、11月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は7,734.6千人泊であった(図8)。コロナ禍の影響がない前々年同月比は-32.1%と前月から減少幅(同-44.7%)は縮小(表1)。感染状況の落ち着きを背景に、引き続き宿泊を伴う外出が増加した。

▶日本人延べ宿泊者数は7,314.8千人泊であった。前々年同月比-8.8%と前月の減少幅(同-22.7%)から大幅改善した(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が2,116.1千人泊、京都府が1,892.3千人泊、兵庫県が1,090.0千人泊、三重県が620.8千人泊、和歌山県が423.9千人泊、滋賀県が304.4千人泊、福井県が273.6千人泊、鳥取県が259.7千人泊、奈良県が177.5千人泊、徳島県が156.4千人泊であった。特に京都府(+9.2%)と鳥取県(+0.2%)が前々年同月比プラスに転じた。

▶外国人延べ宿泊者数は59.8千人泊と、前々年同月比-97.9%減少した(前月：同-98.5%)(表1及び図9)。

▶関西2府8県延べ宿泊者を居住地別で見ると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,764.1千人泊(前々年同月比+38.0%)、県外は5,423.1千人泊(同-39.6%)であった。延べ宿泊者に占めるシェアは、県内が23.9%、県外が73.5%となっている。自治体を実施する旅行補助事業の利用も重なり、県内外ともに宿泊者数(前々年同月比)の伸びが改善している。

▶12月の全国延べ宿泊者数(全体、1次速報ベース)は39,782千人泊であった。前々年同月比-15.6%と減少幅は前月(同-28.3%)から縮小した。感染状況の落ち着きを受けて、引き続き宿泊者数が増加した。関西においても同じ傾向がみられるだろう。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

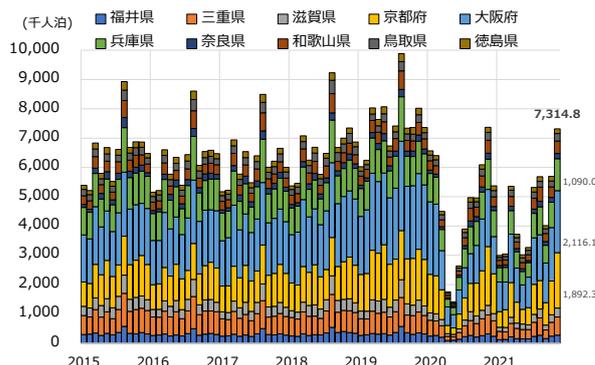


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

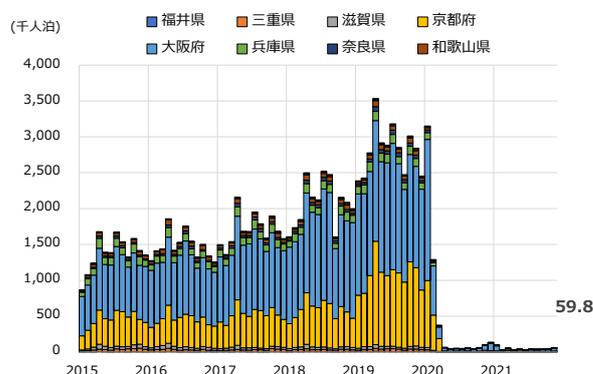
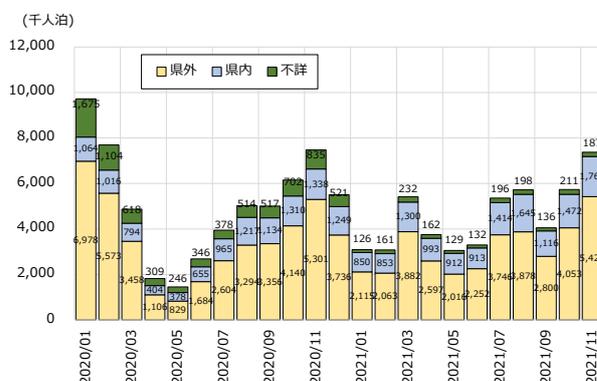


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率の推移

2021年11月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)
福井県	274.3	-12.9	-24.2	273.6	-12.9	-22.2	0.7	-21.3	-93.0
三重県	622.0	-4.7	-16.5	620.8	-4.6	-12.6	1.2	-48.5	-96.6
滋賀県	305.3	-7.3	-32.0	304.4	-6.8	-25.4	0.9	-65.8	-97.8
京都府	1,907.2	-5.8	-32.5	1,892.3	-5.6	9.2	14.9	-27.2	-98.6
大阪府	2,152.3	6.4	-46.2	2,116.1	8.3	-18.2	36.2	-47.6	-97.4
兵庫県	1,093.2	5.5	-9.9	1,090.0	5.7	-1.3	3.3	-32.1	-97.0
奈良県	177.8	-11.9	-30.6	177.5	-11.8	-16.3	0.3	-51.8	-99.4
和歌山県	424.8	-4.8	-14.6	423.9	-4.5	-2.1	0.9	-59.9	-98.6
鳥取県	260.3	-4.4	-6.3	259.7	-3.8	0.2	0.5	-75.8	-97.2
徳島県	157.4	-8.1	-33.3	156.4	-8.6	-29.2	1.0	274.1	-93.4
関西2府4県	6,060.6	0.0	-34.4	6,004.2	0.7	-7.3	56.4	-43.4	-98.0
関西2府8県	7,374.6	-1.3	-32.1	7,314.8	-0.7	-8.8	59.8	-43.2	-97.9
全国	36,358.0	-2.1	-26.8	36,017.4	-1.8	-11.3	340.6	-27.7	-96.2

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~10及び表1)

表2 2022年1月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	1月	1月		1月	1月	
総数	2,689,339	17,800	-99.3	2,689,339	17,800	-99.3
総数(韓国・その他除く)	1,838,303	11,540	-99.4	1,838,303	11,540	-99.4
韓国	779,383	1,300	-99.8	779,383	1,300	-99.8
中国	754,421	1,500	-99.8	754,421	1,500	-99.8
台湾	387,498	500	-99.9	387,498	500	-99.9
香港	154,292	70	-100.0	154,292	70	-100.0
タイ	92,649	400	-99.6	92,649	400	-99.6
シンガポール	22,676	70	-99.7	22,676	70	-99.7
マレーシア	31,399	200	-99.4	31,399	200	-99.4
インドネシア	32,477	500	-98.5	32,477	500	-98.5
フィリピン	35,987	1,000	-97.2	35,987	1,000	-97.2
ベトナム	35,375	400	-98.9	35,375	400	-98.9
インド	12,468	2,100	-83.2	12,468	2,100	-83.2
豪州	81,063	200	-99.8	81,063	200	-99.8
米国	103,191	1,800	-98.3	103,191	1,800	-98.3
カナダ	22,293	200	-99.1	22,293	200	-99.1
メキシコ	3,615	100	-97.2	3,615	100	-97.2
英国	21,554	500	-97.7	21,554	500	-97.7
フランス	15,320	700	-95.4	15,320	700	-95.4
ドイツ	11,358	300	-97.4	11,358	300	-97.4
イタリア	6,033	300	-95.0	6,033	300	-95.0
ロシア	4,382	300	-93.2	4,382	300	-93.2
スペイン	6,316	200	-96.8	6,316	200	-96.8
中東地域	3,936	200	-94.9	3,936	200	-94.9
その他	71,653	4,960	-93.1	71,653	4,960	-93.1

表3 2021年11月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	11月	11月		11月	11月		11月	11月		11月		
総数	2,441,274	20,682	-99.2	2,145,425	1,709	-99.9	171,723	1,992	-98.8	124,126	16,981	-86.3
韓国	205,042	2,021	-99.0	164,558	155	-99.9	24,167	284	-98.8	16,317	1,582	-90.3
中国	750,951	3,189	-99.6	676,675	151	-100.0	36,519	419	-98.9	37,757	2,619	-93.1
台湾	392,102	390	-99.9	374,926	40	-100.0	11,285	53	-99.5	5,891	297	-95.0
香港	199,702	104	-99.9	194,857	9	-100.0	3,610	21	-99.4	1,235	74	-94.0
タイ	140,265	248	-99.8	134,178	32	-100.0	3,700	34	-99.1	2,387	182	-92.4
シンガポール	65,295	95	-99.9	61,188	32	-99.9	3,749	20	-99.5	358	43	-88.0
マレーシア	64,987	130	-99.8	61,118	18	-100.0	3,041	12	-99.6	828	100	-87.9
インドネシア	37,213	688	-98.2	30,129	34	-99.9	3,538	14	-99.6	3,546	640	-82.0
フィリピン	64,763	544	-99.2	57,552	48	-99.9	2,910	19	-99.3	4,301	477	-88.9
ベトナム	41,892	1,814	-95.7	18,580	38	-99.8	4,443	84	-98.1	18,869	1,692	-91.0
インド	14,863	1,571	-89.4	5,855	13	-99.8	6,190	72	-98.8	2,818	1,486	-47.3
豪州	48,327	160	-99.7	42,991	33	-99.9	3,521	22	-99.4	1,815	105	-94.2
米国	148,993	1,432	-99.0	123,839	428	-99.7	20,448	127	-99.4	4,706	877	-81.4
カナダ	33,316	361	-98.9	29,873	63	-99.8	2,462	42	-98.3	981	256	-73.9
メキシコ	6,494	51	-99.2	5,858	7	-99.9	484	0	-100.0	152	44	-71.1
英国	37,709	546	-98.6	30,045	76	-99.7	5,894	66	-98.9	1,770	404	-77.2
フランス	24,290	349	-98.6	18,391	62	-99.7	4,510	77	-98.3	1,389	210	-84.9
ドイツ	19,525	273	-98.6	12,361	55	-99.6	6,078	68	-98.9	1,086	150	-86.2
イタリア	12,350	158	-98.7	9,282	24	-99.7	2,557	39	-98.5	511	95	-81.4
ロシア	13,142	265	-98.0	9,282	38	-99.6	3,012	31	-99.0	848	196	-76.9
スペイン	10,535	87	-99.2	9,128	18	-99.8	1,027	13	-98.7	380	56	-85.3
中東地域	9,836	132	-98.7	7,970	12	-99.8	1,372	13	-99.1	494	107	-78.3
その他	99,682	6,074	-99.9	66,789	323	-100.0	17,206	462	-100.0	15,687	5,289	-99.7

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2 注参照。  
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2022年2月16日付より筆者加工